

今年2月から6月の間に企業などを解雇された障害者数は104人で、昨年より増加したことが4日までの厚生労働省のまとめで分かった。新型コロナウイルスの感染拡大による経営悪化の影響で、雇用を維持できなくなったことが一因となっている。

同省が、各地のハローワークを通じて状況を調べている。翌年度の営業に向けて雇止めや解雇が増える時期でもある3月が366人と最も多く、以下、4月221人、5月206人と続いた。

5月の障害者向けの新規求人数は、昨年比67.6%減の1万1972件。減少率は36.1%で、一般向けの32.1%より4.0%高かった。新規求職申込件数の減少率も障害者化の25%前後から急増。

国列島三重

障害者解雇、コロナで増加

2~6月に1104人

政府がレジ袋の有料化を2020年度までに60%以上とする目標を早くも達成した。

義務化を契機に、環境への配慮や節約志向が急速に広まったとみられる。セブンスターやジャパンの担当者は「マイバッグを持参したり、普通のかばんに購入品を詰め込んだりする方が多い」と話す。

7月の辞退率はセブンスターが75%、ファミリーマートが77%、ローソンは76%となった。

3社は義務化に合わせて、無料だったレジ袋に1枚3〜5円程度の価格を設定した。買い物客にマイバッグの使用を促し、海洋汚染など生態系に影響を及ぼすプラスチックごみの削減につなげるのが政策の狙い。

コンビニ客75%レジ袋辞退

大手3社、有料義務化の7月

政府がレジ袋の有料化を2020年度までに60%以上とする目標を早くも達成した。

義務化を契機に、環境への配慮や節約志向が急速に広まったとみられる。セブンスターやジャパンの担当者は「マイバッグを持参したり、普通のかばんに購入品を詰め込んだりする方が多い」と話す。

7月の辞退率はセブンスターが75%、ファミリーマートが77%、ローソンは76%となった。

3社は義務化に合わせて、無料だったレジ袋に1枚3〜5円程度の価格を設定した。買い物客にマイバッグの使用を促し、海洋汚染など生態系に影響を及ぼすプラスチックごみの削減につなげるのが政策の狙い。

ユニ・チャーム

在宅勤務中にラジオ体操

オンラインでラジオ体操

在宅勤務中にラジオ体操をするユニ・チャームの社員。

と社員が次々と立ち上がり体を動かした。在宅勤務の社員もインターネット電話アプリSkype(スカイプ)を使って参加。自身も週2日程度テレワークをする広報室の渡辺仁志さんは「ラジオ体操をきっかけに雑談ができて、顔も見えて一体感が生まれる」と話す。

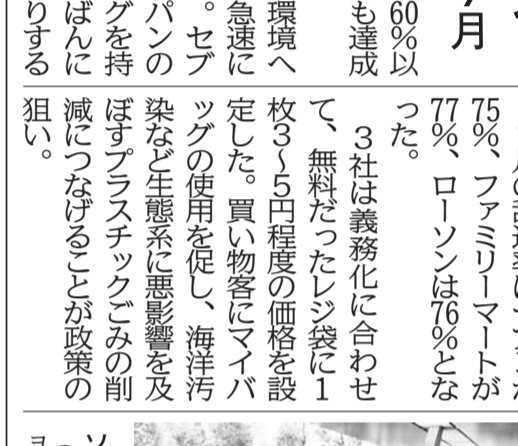
ユニ・チャームは新型コロナウイルスの感染拡大を機に働き方改革を実施。2月末から積極的なテレワークを推進している。

ソニー、電気自動車公開

20年度中に公道実験

ソニーは4日、東京都港区の本社で、電気自動車「EV」の試作車を公開した。2020年度中に公道で走行実験する見込みで、車載用センサーの開発、販売に生かす。量産の予定はない。

試作車は銀色のセタン



ソニーが試作した電気自動車「EV」VISION S(トヨタ提供)

志摩マリンランド

リクガメ赤ちゃん人気

志摩市の志摩マリンランドはこのほど、同館で3月に初めてふ化に成功したケヅメリクガメの赤ちゃん7匹の展示を始めた。メロンパンのような愛らしい外見が人気となっている。

7匹の母ガメの「セイラ」は、怪獣ガメラのシリースとして2006年に公開された映画でガメラの赤ちゃん役を演じ、志摩市が映画の舞台となった縁で製作会社から05年に同館に寄贈された。その後、別の水族館から雄ガメを譲り受け、今回初めて繁殖に成功。7匹はいわば「ガメラの初孫」に当たる。

同館では19年11月に8個の産卵を確認、うち7個が今年3月にふ化した。現在は甲長7〜9センチ、体重120〜185グラムで、餌の小松菜やカボチャを食べて順調に成長しているという。



志摩マリンランドで人気のケヅメリクガメの赤ちゃん(7月6日撮影、同館提供)

若手社員向け研修

四日市市商工会

研修では顧客満足の定義やビジネスマナー、仕事の進め方などを学ぶ。受講者は各日とも50人程度。定員は会員企業の社員が2千円(税込み)、非会員企業の社員が4千円(同)。申し込みの締め切りは8月21日。問い合わせは商工振興課(電話059・352・8194)まで。

ダイナブック株売却

東芝シャープ子会社に

東芝は4日、ノートパソコンを手掛けるダイナブック(東京)の株式19.9%をシャープに売却したと発表した。シャープはこれまで80.1%のダイナブック株式を保有しており、今回の追加取得により完全子会社とした。売却額は非公表。

東芝は1985年に世界で初めてノートパソコンを発売し、一時は世界シェアトップとなったが、中国勢などの台頭で価格競争が激化。2018年に、パソコン事業を担う連結子会社の株式をシャープに売却していた。

先進的なオフィスを体感

四日市事務機センター



同社はことし4月に本社をリニューアルした。3階を応接室、2階は和室のワークスペース、1階はフリーエブ・テレビ会議室やセミナーホール、3階はラウンジを備えたオフィス。階段の壁面に経営理念のイメージを描いたり、各所で工夫を凝らしている。

佐野社長は「革新的な全国約150社のオフィスを巡り、優れたノウハウ、取り組み事例を集約した」と話す。「カメレオンオフィス」と名付け、ニーズや時代に合わせてオフィスを変

本社活用し「ツアー」開始

市日永西2の18の7、佐野智成社長(電話059・346・5411)は、自社の本社を活用し、先進的なオフィスを見学・体感できる「オフィスツアー」を開始した。クラウド化や福利厚生、健康経営など8コースを用意し、家賃やシステム、改善事例など合計200カ所の見学ポイントを設定した。地元企業の見学を受け入れ、企業ごとのニーズに合わせたオフィスづくりの支援を狙う。

(四日市)

友友電装 子育て、女性支援など 優秀将来世代応援企業賞を受賞

【三重県】17歳の知事をつくる「日本創成」のための将来世代応援知事同盟「はこぼこ」子育て・女性支援や働き方改革などに取り組む「将来世代応援企業」の優秀企業賞に友友電装(本社四日市市)を選んだ。このほど三重県庁で表彰状が授けられた。将来世代応援企業は、子育て支援や女性の活躍などに取り組む先進性のある取り組みを行う企業に贈られる。1県につき県内企業1社を推薦し、今回は16県16社の推薦があった。友友電装が受賞した優秀将来世代応援企業賞は、16社中2位に相当する。

同社では、ダイバーシティ&インクルージョンを経営戦略として掲げ、子どもが小学校卒業まで取得可能な短時間勤務制度の導入や社内保育所の運営など、働きやすい環境づくりを続けている。

贈呈式では、三重県雇用経済部の島上聖司部長から、友友電装の下田典史執行役員に表彰状が手渡された。島上部長は引き続き、県内企業の模範として、取り組みを続けてほしいと話した。下田執行役員は「大変光栄。必要とされた新しい働き方も必要とされている。まだまだ課題はあり、取り組みを続けていこう」と話した。

志摩マリンランド

リクガメ赤ちゃん人気

志摩市の志摩マリンランドはこのほど、同館で3月に初めてふ化に成功したケヅメリクガメの赤ちゃん7匹の展示を始めた。メロンパンのような愛らしい外見が人気となっている。

7匹の母ガメの「セイラ」は、怪獣ガメラのシリースとして2006年に公開された映画でガメラの赤ちゃん役を演じ、志摩市が映画の舞台となった縁で製作会社から05年に同館に寄贈された。その後、別の水族館から雄ガメを譲り受け、今回初めて繁殖に成功。7匹はいわば「ガメラの初孫」に当たる。

同館では19年11月に8個の産卵を確認、うち7個が今年3月にふ化した。現在は甲長7〜9センチ、体重120〜185グラムで、餌の小松菜やカボチャを食べて順調に成長しているという。

若手社員向け研修

四日市市商工会

研修では顧客満足の定義やビジネスマナー、仕事の進め方などを学ぶ。受講者は各日とも50人程度。定員は会員企業の社員が2千円(税込み)、非会員企業の社員が4千円(同)。申し込みの締め切りは8月21日。問い合わせは商工振興課(電話059・352・8194)まで。

ダイナブック株売却

東芝シャープ子会社に

東芝は4日、ノートパソコンを手掛けるダイナブック(東京)の株式19.9%をシャープに売却したと発表した。シャープはこれまで80.1%のダイナブック株式を保有しており、今回の追加取得により完全子会社とした。売却額は非公表。

東芝は1985年に世界で初めてノートパソコンを発売し、一時は世界シェアトップとなったが、中国勢などの台頭で価格競争が激化。2018年に、パソコン事業を担う連結子会社の株式をシャープに売却していた。

https://www.tonetsystem.com/ eigy@mailto.tonet.jp

名古屋(営)名古屋市中区清水5-8-1 TEL052-912-0160

Smart face heat

これが、スピード検温の新常識

検温タイム 約1秒!

マスクをしていても顔認識できます!

Smart face heat 株式会社 298,000円(税別) 5年リース 5,800円/月

箱を開けてすぐに簡単設置可能!

これからの新型コロナウイルス感染症対策に

Smart face heat

052-912-0160 商品名 Quick Hygiene Terminal

代理店募集中!

決算公告のおすすめ

掲載例

第〇期決算公告

令和〇年〇月〇日

〇〇市〇〇区〇〇町〇〇丁目〇番〇号

〇〇〇〇株式会社

取締役社長 〇〇〇〇

貸借対照表の要旨 (単位:千円)

科目	金額
流動資産	92,532
固定資産	7,284
負債の部合計	99,816
株主資本	363,754
資本	15,000
資本剰余金	140,368
(利益準備金)	140,368
利益剰余金	208,386
(利益準備金)	3,750
(その他利益剰余金)	204,636
純資産の部合計	363,754
合計	463,570

第〇期決算公告

令和〇年〇月〇日

〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇〇丁目〇番地

〇〇〇〇株式会社

取締役社長 〇〇〇〇

貸借対照表の要旨 (単位:千円)

資産の部	負債及び資本の部
流動資産	流動負債
6,143,083	2,899,523
固定資産	固定負債
5,951,948	1,415,795
有形固定資産	負債合計
6,629	4,315,318
株主資本	3,340,930
184,506	資本
利益剰余金	2,571,200
769,730	資本合計
3,340,930	7,656,248
負債及び資本合計	7,656,248

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 1,450,885千円
2. 1株当たりの当期純利益 126,019円

決算公告は中部経済新聞へ 申し込み・お問い合わせは

決算公告は、商法及び商法施行規則に基づいて、小会社・中会社及び大会社のそれぞれの会社に 応じた決算公告の記載方法が定められています。

中部経済新聞社 企画開発局

TEL.052-561-5213 FAX.052-561-5211

http://www.chukei-news.co.jp